

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場取引所 大

上場会社名 ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社
 コード番号 3390 URL <http://www.u-s-systems.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 縣 将貴
 (氏名) 竹浪 崇

TEL 03-6892-3864

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	3,773	23.9	△417	—	△440	—	△635	—
23年3月期第3四半期	3,044	130.9	11	—	10	—	△120	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △671百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △115百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△1,658.48	—
23年3月期第3四半期	△351.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	2,154	519	21.3
23年3月期	2,746	1,189	40.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 459百万円 23年3月期 1,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	0.6	△560	—	△590	—	△820	—	△2,138.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	383,361 株	23年3月期	383,361 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	— 株	23年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	383,361 株	23年3月期3Q	342,624 株
----------	-----------	----------	-----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる結果になる場合があります。

※金額単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目、その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更致しました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間についても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年3月11日に発生いたしました東日本大震災の影響で停滞していた経済活動は回復しているものの、欧州金融危機や歴史的な円高・株安の進行などの影響による、国内景気の先行きに対する不透明感は払拭できない状況が続いております。

当社を取り巻く事業環境としては、新商品・新機能の発表により事業機会が創出され、事業が成長し販売収益力が見込める事業と、個人所得の低迷や雇用環境への不安、東日本大震災や長引く景気低迷などの影響を受け収益の回復の見込みが難しい事業があり、極めて厳しい状況が続いております。

このような情勢の下、当社グループは、引き続き、スマートフォン・タブレット端末関連事業を事業の柱とした、飲食業界向けのスマートフォン・タブレット端末サービスの開発、教育支援Eラーニングシステム「F-PLAT」のコンテンツ強化、スマートフォン・タブレット端末向けの遠隔サポート事業などに注力してまいりました。

売上高につきましては、システム事業セグメントは、新規受注の伸び悩みや主要取引先との取引縮小などの影響を受けております。教育人材事業セグメントは、昨今の経済不安定による企業の人材教育への投資需要低下などの影響を受け、前年同四半期比で売上は減少しております。コールセンター事業セグメントは、スマートフォン・タブレット端末の遠隔サポート事業が主要クライアントとの一部契約の終了があった影響を受けております。直販事業セグメントは、スマートフォンの堅調な需要が市場の牽引役となり、スマートフォン・タブレット端末を中心とした話題性のある新商品の販売に特化し、顧客ニーズに合わせていくことで、販売数が増加しました。

収益面につきましては、新規顧客獲得のための販路の開拓の先行投資などに関する費用が発生した結果、販売費及び一般管理費が増加することとなりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,773百万円（前年同四半期比23.9%増）となりましたが、利益面につきましては、営業損失417百万円（前年同四半期は営業利益11百万円）、経常損失440百万円（前年同四半期は経常利益10百万円）、四半期純損失635百万円（前年同四半期は四半期純損失120百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

- ①システム事業は、売上高1,190百万円となり、セグメント利益109百万円となりました。
- ②教育人材事業は、売上高893百万円となり、セグメント損失178百万円となりました。
- ③コールセンター事業は、売上高598百万円となり、セグメント利益18百万円となりました。
- ④直販事業は、売上高1,124百万円となり、セグメント利益61百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて683百万円減少し、1,034百万円となりました。これは主に現金及び預金が398百万円、売掛金が267百万円減少したことなどによります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて94百万円増加し、1,115百万円となりました。これは主に投資有価証券が82百万円増加したことなどによります。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて591百万円減少し、2,154百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて108百万円減少し、1,122百万円となりました。これは主に短期借入金40百万円、未払法人税等が82百万円減少したことなどによります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて187百万円増加し、512百万円となりました。これは主に長期借入金214百万円増加したことなどによります。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて79百万円増加し、1,635百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて670百万円減少し、519百万円となりました。これは主に四半期純損失635百万円を計上したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点では、平成23年12月29日に公表（「事業再編及び業績予想の修正に関するお知らせ」に記載）した業績予想から変更はありません。

なお、業績予想を見直す必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	767	368
売掛金	746	479
たな卸資産	62	47
その他	173	150
貸倒引当金	△32	△11
流動資産合計	1,718	1,034
固定資産		
有形固定資産	57	69
無形固定資産		
のれん	508	447
その他	128	141
無形固定資産合計	637	589
投資その他の資産		
投資有価証券	220	303
その他	129	357
貸倒引当金	△23	△204
投資その他の資産	326	455
固定資産合計	1,021	1,115
繰延資産	6	3
資産合計	2,746	2,154
負債の部		
流動負債		
買掛金	188	189
短期借入金	240	200
1年内返済予定の長期借入金	104	262
未払金	370	367
未払法人税等	88	6
賞与引当金	9	7
その他	230	89
流動負債合計	1,230	1,122
固定負債		
長期借入金	284	498
その他	41	14
固定負債合計	325	512
負債合計	1,556	1,635

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,454	1,454
資本剰余金	1,813	1,813
利益剰余金	△2,164	△2,800
株主資本合計	1,103	467
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1	△7
その他の包括利益累計額合計	△1	△7
新株予約権	10	14
少数株主持分	77	45
純資産合計	1,189	519
負債純資産合計	2,746	2,154

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	3,044	3,773
売上原価	1,972	2,844
売上総利益	1,072	928
販売費及び一般管理費	1,060	1,346
営業利益又は営業損失(△)	11	△417
営業外収益		
受取利息	0	3
その他	17	3
営業外収益合計	17	7
営業外費用		
支払利息	1	15
持分法による投資損失	14	10
その他	2	4
営業外費用合計	18	30
経常利益又は経常損失(△)	10	△440
特別損失		
固定資産除却損	0	14
貸倒引当金繰入額	—	170
その他	25	17
特別損失合計	25	202
税金等調整前四半期純損失(△)	△15	△643
法人税、住民税及び事業税	101	5
法人税等調整額	△0	16
法人税等合計	100	21
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△115	△665
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4	△29
四半期純損失(△)	△120	△635

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△115	△665
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	—	△6
その他の包括利益合計	—	△6
四半期包括利益	△115	△671
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△120	△641
少数株主に係る四半期包括利益	4	△29

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。